



2023年7月24日

大阪公立大学

## 大阪・関西万博での飛行実現へ

# 「空飛ぶクルマ」の離着陸ポートや飛行経路実現性について 安全面・都市計画の視点から調査やアドバイザリを担当

大阪公立大学と株式会社大林組、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、グロービング株式会社（代表企業）、株式会社 SkyDrive、大日本印刷株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、日本工営株式会社、三菱電機株式会社が、大阪府、大阪市の協力のもと共同で実施する、2025年大阪・関西万博開催を見据えた日本初の「空飛ぶクルマ」の社会実装に向けた大阪ベイエリアにおける離着陸ポートや飛行経路実現性検証の調査事業が、昨年に続き内閣府の「先端的サービスの開発・構築や先端的サービス実装のためのデータ連携等に関する調査事業」に採択されました。

本学では、大学院工学研究科の新井 隆景客員教授（大阪府立大学 名誉教授）、片山 徹教授、小木曾 望教授、辻井 利昭教授、吉田 長裕准教授が、「空飛ぶクルマ」の離着陸ポートや飛行経路実現性について、安全面・都市計画の視点から調査の実施およびアドバイザリを担当します。本事業で実施する検証に対して、大学の持つ航空工学・航法測位工学・船舶海洋工学・システム工学・都市計画等の専門的知見から、「空飛ぶクルマ」の持つ新たなモビリティに対して、離着陸ポートおよび航路の安全性と利便性の確立に貢献します。

### <調査事業内容>

- ① 大阪・関西万博開催時の2地点間運航実現に向け、大阪ベイエリアの離着陸ポート候補地について、必要となるインフラや飛行航路の検証
- ② 大阪・関西万博後の商用運航の拡大を見据え、その他の有望な離着陸ポート候補地の検討と、ポートの設置に当たっての制度上の課題等について検証



### <昨年の調査結果>

昨年の「空飛ぶクルマ」の大阪ベイエリア航路実現性の調査により、天保山・中央突堤エリアは、複数の駐機場や充電設備などを備えたハブポートを、コストを抑えて整備できる可能性があり、駅や周辺の集客核施設との連携により、他候補地と比べて事業採算性が期待できることや、水面上に飛行経路をとりやすい一方、敷地形状などによるレイアウト上の制約があることなどが確認できました。他にも、法規制課題やリスクアセスメント、桜島・安治川周辺エリアの調査も実施しました。

## <社会実装に向けたスケジュール>

### 2023 年度

- 大阪・関西万博開催時の 2 地点間運航に向けたベイエリアの離着陸ポートに必要なインフラや飛行航路等の検討
- その他の有望なポート候補地の検討と、ポートの設置に当たっての制度上の課題等について検証 等

### 2024 年度

- 離着陸ポートの設置、運航支援体制・拠点、データ基盤等の検討・整備
- 資金調達スキームの検討・構築
- デモフライト 等

### 2025 年度

- 大阪・関西万博における空飛ぶクルマの飛行実現

### 2026 年度～

- 「空飛ぶクルマ」の商用運航の拡大

## <共同実施体制>

企業名	役割
グロービング株式会社	全体統括・調査実行（ポート・航路関連）
株式会社 SkyDrive	調査実行（機体・運航関連）
大阪公立大学	調査実行（ポート・航路関連）
近鉄グループホールディングス株式会社	調査実行（ポート関連）
東京海上日動火災保険株式会社	調査実行（リスクアセスメント関連）
日本工営株式会社	調査実行（ポート関連）
三菱電機株式会社	アドバイザー・調査支援（気象調査関連）
株式会社大林組	アドバイザー・調査支援（ポート建設関連）
関西電力株式会社	アドバイザー・調査支援（充電インフラ関連）
大日本印刷株式会社	アドバイザー・調査支援（ポート展示・PR 関連）
大阪府	協力
大阪市	協力

#### 【研究内容に関する問い合わせ先】

大阪公立大学大学院 工学研究科  
教授 小木曾 望（こぎそ のぞむ）  
TEL：072-254-9245  
E-mail：[kogiso@omu.ac.jp](mailto:kogiso@omu.ac.jp)

#### 【報道に関する問い合わせ先】

大阪公立大学 広報課  
担当：竹内  
TEL：06-6605-3411  
E-mail：[koho-list@ml.omu.ac.jp](mailto:koho-list@ml.omu.ac.jp)